

令和4年9月27日

報 道 機 関 各 位

盛岡文士劇公演実行委員会
会長 三 浦 宏

令和4年度「盛岡文士劇」公演に係る周知方について(依頼)

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃、標記公演の実施に際しましては、格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年度も来る12月3日、4日の2日間で別添のとおり標記公演を実施いたします。

つきましては、広く市民の皆様に当該事業をお知らせいただきたく、貴報道機関を通じての周知方、何とぞよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人盛岡市文化振興事業団
盛岡劇場
盛岡文士劇公演実行委員会 事務局
担当：柏崎結香
Tel 019-622-2258 / Fax 019-622-2258

時代物

握の砂

脚本・道又力
演出・安達和平

啄木

という生き方

令和
四年度

盛岡文士劇

チケット発売開始

10月6日(木)

入場料 **4,000円**
[全席指定]

現代物

あの なはし

落語「盗人の仲裁」より
脚本演出・藤原正教

口上

盛岡文士劇公演実行委員

盛岡劇場メインホール

12月3日(土) ① 午後5時30分開演 ※開場は開演の30分前
4日(日) ② 午後1時開演 ※開場は開演の30分前 ③ 午後5時30分開演 ※開場は開演の30分前

お問い合わせ

盛岡劇場 019-622-2258

[ブレイガイド] カワトク、岩手日報社、IBC岩手放送、テレビ岩手アカデミー、岩手めんこいテレビ、ローソンチケット (Lコード 22539)

盛岡市民文化ホール、キャラホール、姫神ホール、盛岡劇場

※各ブレイガイドによって一度に購入できる枚数に制限があります。詳しくは各ブレイガイドにお問い合わせください。

■主催/盛岡文士劇公演実行委員会 ■共催/盛岡市文化振興事業団、盛岡市、岩手県文化振興事業団、岩手日報社、IBC岩手放送、テレビ岩手、岩手めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、NHK盛岡放送局、エフエム岩手、盛岡タイムス社、岩手ケーブルテレビジョン、ラヂオ・もりおが、岩手県芸術文化協会、盛岡芸術協会、盛岡商工会議所 ■後援/岩手県、岩手県教育委員会、朝日新聞盛岡総局、毎日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局、産経新聞盛岡支局、日本経済新聞社盛岡支局、河北新報社、共同通信社盛岡支局、時事通信社盛岡支局

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ご来場の皆さまにご協力をお願いがあります。(詳細は裏面をご覧ください。)

Design, Illustration Fumiko Yamazaki

令和四年度

盛岡文士劇

第一部

現代物「あのなはん」～落語「盗人の仲裁」より～

日曜日の好日一。盛岡で蕎麦屋を営む大林真一・礼子夫婦の元に、次々客が来る。

お見合いの席から逃げ出してきた姪っ子・綾子。店の看板娘・百合は、結婚報告に。同業の蕎麦屋・二代目・俊輔もやってきて、家の中は、にぎやか。

その日、真一は、東京で開催される「盛岡・蕎麦を手繰る会」に行くという。新幹線に遅れると、バタバタと真一は出かけ、家に残った礼子らは、ケーキを食べに外出した。

夕刻。不在の大林家に盗人・鈴木周吉が「ごめんくなんせ」と、上がりこんできた。

物色中、タクシーの停車音が。真一が出発日を間違えて帰ってきた。慌てた周吉は、逃げ場を失い、部屋のドレッサーに隠れるが一。

■脚本・演出：藤原 正教

■方言指導：小野寺瑞穂

■キャスト

畑中美耶子 ※声の出演

大塚 富夫 (IBC岩手放送)

高橋佳代子 (フリーアナウンサー)

神山 浩樹 (IBC岩手放送)

細田 啓信 (岩手めんこいテレビ)

高橋 由稀 (2021ミスさんさ踊り)

工藤きづな (レポーター)

第二部

口上

盛岡文士劇公演実行委員による恒例の口上。賑々しくご挨拶を申し上げます。

第三部

時代物「一握の砂 啄木という生き方」

若き天才詩人・石川啄木と堀合節子の結婚式の当日。そこに肝心の花婿の姿はなかった。節子は周囲の反対を押し切り、花婿のいない結婚式を行う。数日後、ようやく現れた啄木と節子との新婚生活が始まる。節子だけでなく、年老いた両親と妹、生まれたばかりの娘を養う責任が、まだ二十歳そこそこの啄木の肩にのしかかる。職を求めて北海道へ渡った啄木は、函館、札幌、小樽、釧路とさすらい。やがて心が満たされない生活には、とても耐えられないと悟って上京。家族を呼び寄せる金を作るため、死に物狂いで小説を書きまくるが、原稿はまったく売れない。理想と現実の狭間で、もがき苦しむ啄木に、果たして明日はやってくるのか。

■脚本 本：道又 力

■演出：安達 和平 (劇団わらび座)

■キャスト

高橋 克彦 (作家) ※声の出演

金田一秀穂 (言語学者)

石川 真一 (石川啄木 御曾孫)

井沢 元彦 (作家)

内館 牧子 (脚本家)

ロバート・キャンベル (日本文学研究者)

谷藤 裕明 (盛岡市長)

藤田 弓子 (女優)

安藤 和津 (エッセイスト)

羽田 圭介 (作家)

北上 秋彦 (作家)

平谷 美樹 (作家)

道又 力 (脚本家)

澤口たまみ (エッセイスト)

松本 伸 (写真家)

そのだつくし (漫画家)

綿世 景 (作家)

南海 遊 (作家)

浅川 貴道 (読売新聞長野支局)

阿部 知彦 (岩手日報社)

浅見 智 (IBC岩手放送)

石橋 美希 (岩手めんこいテレビ)

阿部 沙織 (エフエム岩手)

千葉 彩楓 (2022ミスさんさ踊り)

※出演者は都合により変更となる場合があります。予めご了承ください。

■舞台監督／(株)アクト・ディヴァイス ■舞台美術／長内努 ■大道具・置道具／(株)ベイス ■照明・音響／(株)アクト・ディヴァイス

■かつら・メイク・衣裳(時代物)／橋本かつら店・葛尾和子 ■スタッフ協力／盛岡演劇協会ほか

ご来場の皆様へ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来場の際は以下の点にご協力ください。

- *本公演は、国や自治体のガイドラインに沿って、収容率100%（お隣にほかのお客様がいない状態）での開催となります。
- *お名前、ご連絡先の確認
- *マスク着用、手指の消毒の徹底
- *発熱、咳、だるさなどの症状がある場合はご来場をご遠慮ください。
- *劇場の感染症対策について、事前にHP等でご確認をお願いします。
- *新型コロナウイルスの感染状況によっては開催を延期又は中止する場合がありますので予めご了承ください。

【令和4年度 盛岡文士劇公演 チケット一般販売情報】

1 一般販売開始日

10月6日（木）

2 公演日時

- ① 令和4年12月3日（土） 午後5時30分開演（30分前開場）
- ② 令和4年12月4日（日） 午後1時00分開演（30分前開場）
- ③ 令和4年12月4日（日） 午後5時30分開演（30分前開場）

<計3回公演>

3 会場

盛岡劇場 メインホール（松尾町3-1）

4 内容

◎第一部：現代物「あのなはん」（落語「盗人の仲裁」より）
地元各局のアナウンサーらが出演

◎第二部：「口上」
盛岡文士劇公演実行委員会の委員が出演

◎第三部：時代物「一握の砂 啄木という生き方」
盛岡市内外で活躍する文士が出演

5 入場料

4,000円（全席指定）

6 プレイガイド

カワトク・岩手日報社・IBC岩手放送・テレビ岩手アカデミー・
岩手めんこいテレビ・ローソンチケット（Lコード：22539）・
盛岡市民文化ホール・キャラホール・姫神ホール・盛岡劇場

※盛岡市民文化ホール・キャラホール・姫神ホール・盛岡劇場は午前9時から販売。その他プレイガイドは各開店時刻により販売します。ローソンチケットは午前10時から。

※1回のご購入につき、1人2枚までの枚数制限にて販売します。再度並び直しての追加購入は可能です。

7 お問い合わせ

盛岡文士劇公演実行委員会事務局（盛岡劇場内）
TEL：622-2258 FAX：622-1910